

2008 年度 小委員会活動成果報告

(2009 年 2 月 19 日作成)

小委員会名	JASS5 改定小委員会		主 査 名：梶田 佳寛 就任年月：2004 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	材料施工委員会 (鉄筋コンクリート工事運営委員会)		委員長名：梶田 佳寛 主 査 名：梶田 佳寛
設 置 期 間	2004 年 4 月 ～ 2009 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・(設置目的) JASS 5 は、技術の進歩や社会情勢の変化に呼応して約 10 年ごとに大改定がなされており、前回の改定(1997 年)から 12 年が経過し、2003 年の部分改定からも 6 年が経過し、改定する必要が生じ、改定小委員会を設置して改定作業を行う。</p> <p>(各年度活動計画) 2004 年度～2007 年度にかけて、2003 年版 JASS 5 の問題点の抽出、鉄筋コンクリート工事に関する研究・技術開発の動向を調査し、法令・基準との整合を図り、本文・解説案を検討したが、成案に至らず、1 間延長して、2008 年度中に完成させる。</p>		
委員構成 (委員名(所属))	<p>委員公募の有無：なし</p> <p>梶田佳寛(宇都宮大学)、阿部道彦(工学院大学)、野口貴文(東京大学)、大野義照(大阪大学)、嵩英雄(工学院大学)、一瀬賢一(大林組)、古賀康男(宇部三菱セメント研究所)、桜本文敏(鹿島建設)、清水昭之(東京理科大学)、棚野博之(建築研究所)、名和豊春(北海道大学)、早川光敬(東京工芸大学)、三井健郎(竹中工務店) 山崎庸行(清水建設)</p>		
設置 WG (WG 名：目的)	<p>JASS 改定支援 WG：JASS 5 の特殊仕様のコンクリートについて、専門委員を集めて検討する。</p> <p>長期対応検討 WG：超長期供用級の可否およびその仕様について、専門委員を集めて検討する。</p>		
2008 年度予算	2 5 0 0 0 0 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	約 50 回(2004～2008 年度延べ)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 建築工事標準仕様書 JASS5 鉄筋コンクリート工事・同解説
講習会	1. JASS5 改定講習会(支部共通) 参加者数 1800 名
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	なし
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	2008 年 8 月に改定本文案を建築学会の HP で公開し、意見を求め、それらの意見を検討して、改定本文案を修正するとともに、解説に反映した。コンクリートの乾燥収縮率の規定化に対して一部反対の意見があったが、鉄筋コンクリートの品質の向上の観点から規定化することとした。
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1997 年の大改定から 12 年、2003 年の部分改定から 6 年ぶりの改定であり、検討すべきことはきわめて多岐にわたったが、現行の問題点に関して一応の結果が得られ、当初の計画が達成できた。

委員会活動の問題点 ・課題	予算が少なく、委員の献身的な協力によるところが大きい。予算が少なく、遠方の委員が参加しにくい、今年度に限って他の委員会の活動を制限して出来るだけ地方の委員も参加できるようにした。
--------------------------	---

*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。